

令和4年度原子力防災訓練等の検証結果（概要）

原子力防災訓練（10/12実施）、ドローン運用訓練（10/17、18実施）、オフサイトセンター運営訓練（2/2実施）の主な検証結果（課題）は次のとおり。

検証結果（課題）	
1	<p>住民の不安をやわらげ、原子力防災に対する理解を促進させるため、訓練参加住民に対する丁寧な情報提供が必要（原子力防災訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解を深めるため、住民に対して、訓練想定や、それに対する対策など丁寧な説明が必要。
2	<p>幅広い年齢層に原子力防災の啓発を図るため、より多くの住民が参加する訓練の実施を検討（原子力防災訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実災害時に多くの住民が避難するとなると、訓練どおり避難できるか不安。 ・実災害は、訓練の何倍もの対応が必要となるため、より多くの職員や住民を巻き込んだ訓練を行いたい。
3	<p>要配慮者を安全に搬送するため、歩行が困難な要配慮者の搬送訓練の実施を検討（原子力防災訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者、病人など、様々な人のことを考えなくてはいけない。
4	<p>放射性物質放出後のモニタリング活動において、個人線量計による被ばく線量管理の実施が必要（原子力防災訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質放出後のモニタリング活動は、汚染の有無が分からない状態で実施するので、試料採取する場合の手順をしっかりと確認しておきたい。
5	<p>迅速に初動対応を行うため、ドローンに取り付けるカメラの日時設定等を、遠隔で操作できる機器等の導入を検討（ドローン運用訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを飛行させるまでの間に、カメラ日時の設定等に時間を要しているが、これらの手順の見直しが必要ではないか。
6	<p>要員の対応能力の向上を図るため、初動対応を含めた訓練の実施を検討（オフサイトセンター運営訓練）</p> <p>【参加者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要員の対応能力について、引き続き多様なアプローチで向上させていく必要がある。

※検証結果（課題）については、来年度の原子力防災訓練等において、関係機関と連携して対応することとしている。